

子どもを守る取組の充実

予算額 627,730千円

子育て支援課
地域福祉課

①②③④⑤⑦⑧ 224-2271
⑥ 224-2256

児童虐待相談件数が増加し、平成24年には2件の死亡事例が発生した中で、三重県児童虐待死亡事例検証委員会での検証をふまえ、児童虐待防止対策として、法的対応や介入型支援等に関する児童相談センターの専門性の向上を図るとともに、人材育成など市町の実情に応じた支援に取り組みます。

また、若年層の望まない妊娠への対応など児童虐待等の未然防止に取り組むとともに、児童養護施設等の小規模ケア化や里親委託など家庭的養護を促進します。そのほか、生活保護世帯やひとり親家庭、児童養護施設の子どもたちへの学習支援を進めます。

児童虐待の防止

(新)①児童虐待法的対応推進事業 予算額 58,490千円

法的対応と介入型支援を的確に行うとともに、児童相談機能の充実を図ります。

【法的対応力強化】

- ・弁護士を活用し、法的対応力を強化
- ・警察官等を配置し、介入型支援を強化
- ・介入型支援スキルを向上するための研修の実施
- ・一時保護など援助方針の客観性、的確性を高めるためのアセスメントツールの研究・開発
- ・ハイリスクケース対応・情報共有システムの導入による県庁、児童相談センターおよび児童相談所間での情報共有・対応確認

【児童相談所職員専門性向上】

- ・児童相談所職員が法的な対応等を的確に行うための研修の実施

【児童相談所現場対応力強化】

- ・児童虐待対応協力員の配置
- ・医師等をスーパーバイザーとして活用
- ・外国人通訳の確保



(新)②市町児童相談体制支援推進事業 予算額 76,003千円

市町における児童相談の中核組織である要保護児童対策地域協議会の組織強化とケース対応力の向上を支援するため、アドバイザーの派遣や巡回による指導・助言を行います。

市町職員に対する研修の充実を図るとともに、市町におけるケース情報の適正な管理を行うための児童相談記録システムの導入支援等、市町の児童相談体制の一層の強化を支援します。

③若年層における児童虐待予防事業【緊急課題解決5】

予算額 4,203千円

思春期特有の悩みに同世代が傾聴する「思春期ピアサポーター」を養成するとともに、産婦人科等医療機関や教育等関係団体と連携し思春期セミナーの開催や性に関する正しい知識の普及等を行います。

「予期せぬ妊娠『妊娠レスキューダイヤル』」による電話相談や、産婦人科、小児科、精神科等と連携し出産前後からの妊産婦支援の取組を進めます。

④児童虐待等相談対応力強化事業 予算額 3,094千円

「子どもを虐待から守る条例」に基づき、県要保護児童対策協議会の開催や「子どもを虐待から守る家」の周知・普及等に取り組むとともに、11月の子ども虐待防止啓発月間を中心に、子ども虐待防止キャンペーンを行います。

社会的養護体制の充実

⑤家庭的養護体制充実支援事業【緊急課題解決1・5】

予算額 474,854千円

「三重県社会的養護のあり方検討会」での議論をふまえ、乳児院の創設や児童養護施設等における小規模ケア化、里親委託等の促進を図ります。

また、要保護児童の家庭復帰に向けた親子関係の改善に取り組むとともに、社会に出るにあたって、身元保証や未成年後見人の選定支援等を行います。

子どもへの学習支援

(一部新)⑥生活保護適正化推進事業(予算額 17,010千円) うち「生活保護学習支援事業分」8,086千円

(一部新)⑦ひとり親家庭等日常生活支援委託事業(予算額 3,990千円) うち「ひとり親家庭学習支援ボランティア事業分」3,000千円

⑧家庭的養護体制充実支援事業【緊急課題解決1・5】 うち「児童養護施設入所児童学習支援事業分」(8,458千円：再掲)

生活保護世帯、ひとり親家庭、児童養護施設の子どもたちが主体的に学び、自ら課題を乗り越える力を引き出すための、学習支援を行います。